

沖縄戦

摩文仁での壮絶な

まぶに

体験を語る

6月9日（日）

14:00～

入場料 無料

～平和のために今できること～

喜屋武 幸清（沖縄戦当時6歳）

沖縄戦末期、母と4才2才の弟、0才の妹と、戦火を逃れ、沖縄本島の南部、糸満市摩文仁の壕にたどり着く。しかし、「泣く子が入るな」と日本兵に銃を突きつけられる。

母は、下の2人をどこかに連れ出し、3人だけ壕に入るが、弟妹はどこに・・・現在は、亡き母に背中を押され、生き残った者の使命として、戦争体験語り部として活動している。

内容

- 1部：講話 喜屋武 幸清（きゃん こうせい）
戦争当時6歳、戦争体験語り部
- 2部：朗読 朗読を楽しむ会
「マブニのアンマーおきなわの母」
合唱 那覇少年少女合唱団

展示：「平和関連絵本」牧志駅前ほしぞら図書館
「戦争写真展」原爆展を成功させる会

◇日時：令和6年6月9日（日）14:00～15:40

◇場所：牧志駅前ほしぞら公民館ホール

◇対象：那覇市在住・在勤・在学の人（小学校3年以下は保護者同伴）

◇定員：50人（先着順）※当日空きがあれば入れます

◇申込方法：電話、窓口、又は、オンラインでの申込

◇申込期間：5月27日（月）～6月6日（木）9:00～17:00

（電話、窓口は、平日の9:00～17:00）

◇牧志駅前ほしぞら公民館 電話：917-3443

（安里2-1-1 さいおんスクエア3階）

※周辺駐車場は混みあう事が予想されます。公共交通機関をご利用ください。

